



平成 23 年 4 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社免疫生物研究所
(コード番号：4570)
本店所在地 群馬県藤岡市 中字東田 1091-1
代 表 者 代表取締役社長 清藤 勉
問 合 せ 先 取締役経営企画室長 木下 憲明
電 話 番 号 0274-22-2889 (代表)
U R L <http://www.ibl-japan.co.jp>

新規膵臓がんマーカーの診断応用に向けた共同研究に関するお知らせ

株式会社免疫生物研究所（代表取締役社長：清藤勉、群馬県藤岡市）と株式会社トランスジェニック（代表取締役社長：福永健司、熊本県熊本市）（以下、トランスジェニック社）との間で、トランスジェニック社の新規膵臓がんマーカーに関して、診断応用に向けた共同研究契約を締結しましたので、お知らせいたします。

記

このたびの共同研究は、2011年3月11日締結の当社とトランスジェニック社との包括的な業務提携の一環として、トランスジェニック社独自技術であるGANP®マウス技術により作製した、新規膵臓がんマーカー候補タンパク質に対する高親和性抗体の診断応用に向けた検討を行うものであります。

今後、トランスジェニック社は当該抗体の診断応用に向けたキット化、また当社はキットの最適化及び有用性検証と基幹技術の相互補完を行い、両社共同で新規膵臓がんマーカーの診断応用の研究を進めてまいります。また、本共同研究契約をはじめとした、包括的業務提携のシナジー効果を高め、相互の事業基盤の強化と将来に向けた持続的な事業発展を押し進めてまいります。

当社は、アルツハイマー病を中心とした診断や治療への応用を視野に入れた新製品開発を集中して推進しておりますが、本共同研究により、これら開発パイプラインの拡充を図るものです。

なお、本共同研究契約は、当社が平成23年4月18日発表の「中期経営計画」を達成するための施策のひとつであります。

◆ご参考

【GANP®マウス技術】

GANP（Germinal Center Associated Nuclear Protein）とは、熊本大学 阪口薫雄教授らにより発見された遺伝子で、抗体を産生するB細胞で発現しています。

GANP®マウス技術とは、このGANP遺伝子を過剰に発現させたGANP®マウスを用いて抗体を作製する技術です。GANP®マウスで得られる抗体は、親和性や特異性の高いことが特徴で、診断薬や抗体医薬の開発への展開が可能です。

【膵臓がん】

膵臓がんは、癌の臓器別死因順位が第5位ですが、末期になるまで無症状であること、また、膵臓そのものが体の奥にあることから発見が困難な癌であり、最も悪性度の高い疾患の一つです。現在の診断方法としては、血中のCA19-9、CEA、CA50等の腫瘍マーカーの測定やCT等の画像診断が実施されています。

以上